

自主山行

比良山系 テント泊縦走トレーニング

とき	: 2021年7月22日、23日	天候	: 快晴	メンバー	: 2名(男性2名)
コース	:(1日目) JR宝塚駅ーJR堅田駅ー平バス停ー権現山ー蓬萊山ー打見山ー葛川越ー金糞峠ー八雲ヶ原				
	:(2日目) 八雲ヶ原ー武奈ヶ岳ー釣瓶岳ー蛇谷ヶ峰ー朽木温泉ーJR安曇川駅ーJR宝塚駅				

歩くペース **0.7~0.8 (速い)**

※ヤマブラ掲載の「山と高原地図」標準コースタイムを「1.0」としたときの倍率(全コースのうち73%の区間で比較) [\[注意事項\]](#)

コースタイム [\[注\]](#)

表示切替:

1日目

山行 6時間11分 休憩 1時間13分 合計 **7時間24分**

S	平バス停	09:30	10:22	アラキ峠	11:16	権現山	11:40	ホツケ山	11:41	12:00	小女郎峠	12:09
12:34	蓬萊山	12:58	13:10	レストランバードキャッスル	13:17	13:24	打見山	13:35	木戸峠	13:39		
14:11	比良岳道標	14:12	14:22	葛川越	14:30	14:47	鳥谷山	14:59	15:20	荒川峠	15:21	
15:35	南比良峠	15:36	16:00	東し新道分岐	16:01	16:20	金糞峠	16:22	16:24	金糞峠西側下の分岐	16:25	
16:38	RP八雲1	16:53	八雲ヶ原	16:54	16:54	宿泊地	泊					

2日目

山行 6時間45分 休憩 1時間9分 合計 **7時間54分**

泊	宿泊地	07:11	07:26	イブルキノコバ	08:01	コヤマノ分岐	08:02	08:14	武奈ヶ岳	08:24		
08:31	細川尾根分岐	08:32	08:49	細川越	08:50	09:13	釣瓶岳	09:28	09:50	イクワタ峠	09:57	
10:33	地蔵山	10:34	10:54	地蔵峠	10:55	11:26	ココタニ峠	11:27	11:59	ホボフダ峠	12:06	
12:18	滝谷ノ頭	12:19	13:25	蛇谷ヶ峰	13:38	13:41	866m分岐	13:42	13:46	カツラの谷分岐		
13:57	670m点ベンチ	14:18	釜の谷分岐	14:19	14:32	釜の谷	14:39	14:52	釜の谷登山口	14:53		
15:05	ゴール地点	G										

活動記録

体力とテント泊の訓練のため、比良山系の縦走にチャレンジ。個人テントでのテント泊は初めて、本格的な縦走も初めてでしたが、終始パートナーに助けられ、何とか最後まで完走できました。

今回の山行では給水の大切さを知り、また荷物の軽量化の大切さを痛感しました。

日帰りの山行ばかりでは気づかない視点なので、これからも鍛錬を重ねていきたいと思います。



平バス停に向かう江若交通のバスから1枚。

これから登る比良山系がよく見えました。

【一日目】



← 平バス停

バス停を降りた後、逆方向に登山口迄戻ります。対向車が怖い。

登山口 →

「鯖街道」の文字が見えます。



権現山の頂上。

山頂からは琵琶湖は一望できました。京都や丹波の山々も良く見えて、ここまでの辛かった急登をしばし忘れさせてくれました。



小女郎峠から望む蓬莱山。

たくさんのハイカーが行き来していました。頂上にはロープウェイの建物があり、遠くからでも良く見えます。



蓬莱山頂上。

多くの人で賑わっていました。一等三角点もあり。



蓬莱山→打見山→葛川越→鳥谷山

打見山からはスキーゲレンデを通り、木戸峠へ。比良岳の右手を通過して葛川越へ到達。

ここらの鳥谷山山頂への急登は、道も悪く、本当に大変でした。しかしまだ笑う余裕あり。



金糞峠を経て八雲ヶ原到着。

テントを張り、夕食。楽しいひと時。夜には満月が出て、八雲ヶ原は幻想的な景色でした。

【二日目】



武奈ヶ岳山頂。

360度の視界があり、遠く岐阜県の山々も見えました。



山頂からはこれから向かう釣瓶岳、蛇谷ヶ峰が一望できました。



釣瓶岳山頂。

武奈ヶ岳から少し下ります。この頃にはだんだん下りも辛くなり、パートナーに遅れていきます。



釣瓶岳↓地蔵山



地蔵峠、横谷峠

ようやく横谷峠に到達。まだまだ元気なパートナーと異なり、へろへろな状態で、登りでは10歩進んでは立ち止まるような状況でした・・・。



蛇谷ヶ峰到着。

パートナーの背中を追うだけで精一杯の急登を何とか登り切り、頂上へ到達しました。

頂上からはリトル比良もよく見え、いつか挑戦したいと思いました。



朽木温泉

最後は温泉に入り、2日分の汗を流して帰りました。

蛇谷ヶ峰には天狗の森があるそうです。

<最後に>

今回はトレーニングのつもりで重い加重（19キロ）を背負いましたが、この暑さと初めてのコース、縦走ということで、体がついていきませんでした。また水分の量、行動食の選択を間違え、パートナーに助けをもらい、完走できました。次に繋がる、よい経験になりました。